



令和六年  
公益財団法人 兵庫県身体障害者福祉協会  
理事長 木村 佳史

### 新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

#### 障害者権利条約の批准

障害者に関する初めての国際条約である障害者権利条約の批准（平成26年1月）から間もなく10周年を迎えます。日本国内ではこの条約の締結に先立ち障害者基本法の改正（平成23年8月）、障害者総合支援法の成立（平成24年6月）、障害者差別解消法の成立及び障害



令和六年新春メッセージ  
兵庫県知事 齋藤元彦

### 兵庫の新たなステージへ

新年あけましておめでとうございます。昨年、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、社会経済活動が正常化しました。その一方で、物価高騰や円安は依然として私たちの暮らしに影響を及ぼしています。こうしたなかでも、阪神タイガース、オリックス・バファローズ、ウィッセル神戸の活躍は、私達に感動を与え、地域に元気をもたらしてくれました。

選手達のはつらつとしたプレーのように、令和6年の県政も、だれもが夢や希望を持って挑戦できる社会をめざし、「攻めの県政」を展開する一年にしたいと思っております。

者雇用促進法の改正（平成25年6月）など、多くの法整備が行われ、以後、様々な障害者施策の充実が図られてきました。

また、大変喜ばしいことに、この条約はその制定過程において障害者団体が参画し、発言の機会が設けられるなど、障害者自身の意見が反映されたものとなっております。また、一昨年、国連から示された勧告でも障害者施策の改善に際しては障害者団体との密接な連携の重要性が示されています。

#### 「私たちのことを 私たちが抜きに決めないで」

本年4月には改正障害者差別解消法が施行され、民間事業者にも合理的配慮の提供が義務付けられるなど、今後とも、私たち障害者の多様化するニーズを踏まえた社会環境整備の一層の前進が期待されます。しかし、そのためには私たち一人ひとりが「私たちのことを 私たちが抜きに決めないで」との権利条約

まずは、若者・Z世代への支援です。

兵庫県立大学・大学院の無償化や奨学金返済支援の拡充など、結婚・出産のハードルにもなっている教育費の負担を軽減します。また、海外への留学等を支援し、国際視野を得る機会を広げます。保育・子育てサービスの実現、不妊治療支援や若い世代に向けた住宅支援の充実など、兵庫で子どもを生み、育てたいという希望を叶える環境づくりも進めます。

高齢者や障害のある方たちが安全安心に暮らせる「共生社会」を実現します。

特殊詐欺被害が過去最悪のペースで増加するなか、被害者の8割を占める高齢者を被害から守るため、全国一の規模で集中的に対策を強化します。自転車ヘルメットの購入支援を行い、自転車死亡事故の減少につなげます。また、年齢や障害の有無に関わらず安心して旅行ができるユニバーサルツーリズムや、パラスポーツの普及に取り組みます。団塊世代のすべてが後期高齢者となる2025年を見据え、健康づくりや地域医療構想の推進にも

の精神を踏まえ、障害者理解の発信者として主体的に行動するとともに、全国の障害者関係団体が緊密に連携して行動することが必要だと考えます。

#### 誰もが安心して暮らせる地域共生社会の実現

兵身協は、加盟団体の皆様と一体となって、組織の充実・強化に引き続き取り組むとともに、障害の有無にかかわらず、互いの多様性を認め誰もが安心して暮らせる地域共生社会の実現を目指し、鋭意努力して参りますので、皆様の温かいご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が穏やかで幸多い一年になりますとともに、皆様方のご健勝とご活躍を心からご祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

注力します。

地域のポテンシャルを活かし、兵庫の持続的発展につなげます。

人と環境にやさしい農業、革新に挑む地場産業、地域に根付く芸術文化など、兵庫各地の人々の営みには、世界が持続可能な発展を遂げるための多くのヒントがあります。大阪・関西万博を機に、こうした現場に国内外の人々を誘う「ひょうごフィールド・パビリオン」の取組を加速します。また、脱炭素社会実現の鍵となる水素エネルギーの活用や、有機農業の拡大に向けた担い手育成など、持続的な成長を支える取組を先導します。

県政推進にあたり、現場主義の徹底と対話重視の姿勢に変わりはありません。これまで以上に、現場に足を運び、地域の皆様との対話から出てくる課題やニーズを積極的に施策に反映していきます。

兵庫の新たなステージに向け、果敢に取り組んでまいりますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 令和5年度兵庫県障害者福祉大会並びに 第19回兵庫県障害者芸術・文化祭が開催されました

去る11月18日（土）に加古川ウエルネスパークのアラバスクホールにおいて、令和5年度兵庫県障害者福祉大会並びに第19回兵庫県芸術・文化祭が、県下の身体障害者、知的障害者、精神障害者とその団体の関係者などの参加を得て盛大に開催されました。

障害者福祉大会では、永年にわたり地域の身体障害者団体の育成強化に多大な貢献をされた方々へ当協会の理事長表彰が行われるとともに、ボランティア活動により身体障害者支援に貢献された方に、木村理事長から感謝状が贈呈されました。受賞された方々は次のとおりです。（敬称略）

受賞された皆様には、深く感謝とお喜びを申し上げます。また、表彰受賞者をご推薦いただくとともに、多数ご参加いただきました地域団体や関係者の皆様に心からお礼申し上げます。

### ■地域身体障害者団体育成成功労者表彰を受けられた20名

佐藤 孝則	濱上 絹代
吉原 勝	上田 春美
西岡 良子	濱崎 幸好
中山文美代	足立美佐代
朝井かつみ	梶田 丈市

### ■ボランティア貢献感謝を受けられた1団体と1名

本岡 秋子	岡村 町子
安武 昭弘	馬部 勝
長浜 直子	松井 和夫
清水美穂子	目木 伸幸
宮下 文子	坂本 泰美

あしや宙の会  
東川 俊之

その他、「心の輪を広げる体験作文」知事表彰をはじめ、公益財団法人兵庫県手をつなぐ育成会理事長表彰、公益財団法人兵庫県精神福祉家族会連合会会長表彰が行われました。

また、障害者福祉大会に先立ち、芸術・文化活動を通じて障害者の自己実現と社会参加を進め、交流を通して共感と感動の輪を大きく広げることが目的に兵庫県障害者芸術・文化祭が開催されました。

オープニングは、三木市手をつなぐ育成会の皆さんによる太鼓演奏「なかよし太鼓」に始まり、地元の特設支援学校や施設の仲間による歌や楽器演奏などが行われ、大いに盛り上がりま

した。

後半は、元パラリンピック水泳日本代表の伊藤真波さんの奏でる、思わず聞き入ってしまうバイオリンの音色と、障害を負った失意のどん底から不安や葛藤を乗り越え、夢を実現してきた体験談に、会場は感動に包まれました。

出演者の方々をはじめ、支えてくださった多くのボランティアの皆さん、ありがとうございました。



## 近畿ブロック福祉大会と相談員研修会が 京都テルサで開催されました

令和5年10月16日(月)、日身連近畿ブロック連絡協議会の第43回福祉大会及び第25回相談員研修会が、京都テルサにおいて、京都府身体障害者団体連合会主管のもと、近畿各地から約500名が参加し、盛大に開催されました。

午前の福祉大会は、近畿府県・政令指定都市の身体障害者団体の代表並びに関係者が一堂に会し、ノーマライゼーションの理念である障害者の完全参加と平等を促進し、身体障害者福祉の向上を図ることを目的に開催され、主管団体挨拶、来賓祝辞などから始まり、前年度決議事項処理報告、大会宣言、大会決議と議事が進みました。

「前年度決議事項処理報告」では、日身連の全国6ブロックより提出された要望事項が「日身連要望事項」として国の関係省庁(厚生労働省23項目、内閣府11項目、国土交通省5項目、総務省2項目、文部科学省2項目、農林水産省1項目、警察庁2項目)に提出され、これに對



する各関係省庁からの回答が「日身連要望事項回答文書」として取りまとめられた旨、報告がありました。

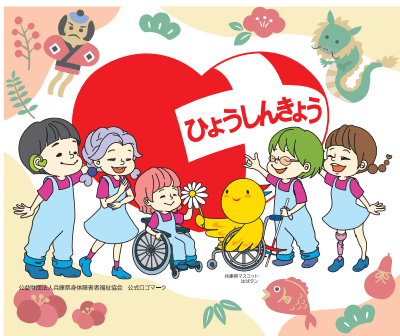
次に、「大会宣言」として「私たちが私を私たち抜きに決めないで」という障害者権利条約の精神のもと、障害当事者の立場から主体的に諸課題の解決に取り組み、障害者の福祉の充実と向上のために一致団結して行動していくことが、誓われました。

これを受けた「大会決議」では、①障害者権利条約の規定を反映した高水準の障害者施策の推進、②障害者差別解消法の改正法が令和6年4月に施行されることへの要望、③福祉サービスの地域間格差の是正、④障害者相談員の身分等法制度の充実強化、⑤障害者雇用の促進強化と雇用継続のための助成制度の充実、⑥障害者・高齢者等の移動の円滑化のためユニバーサルデザインのまちづくりへの確実な取り組み、⑦災害対策会議、委員会に障害者団体の代表及び障害者相談員の参加を義務付けし、要援護者の名簿共有ができる防災減災のネットワーク化、⑧重度障害者助成制度等市町村単独給付金や普通調整交付金が減額されないよう、国制度としての創設、⑨教育において障害の理解を深める「心のバリア

フリー」学習の充実強化など、計14項目が、国や関係機関に対する要望事項として採択されました。

午後からは、身体障害者相談員研修会が開催され、厚生労働省福祉用具専門官の徳井亜加根氏から、「補装具費支給制度等について」と題する講演が行われました。

福祉用具(福祉用具法第2条)の定義から始まり、補装具と日常生活用品との違い、給付基準や支給制度も交え、普段のお仕事の様子をお聞きするとともに、補装具費については、障害のある方がどのような日常生活を送るかによって支給されるものであることや、個々の筋力や活動レベルを考慮してパーツも選んでおり、同じ障害でも個人の障害特性によって支給されるものが違うケース等、様々な相談事例をあげて講演されました。講演終了後は、会場から多数の質問・意見が出され、大変熱気を帯びた充実した研修会となりました。



## みんなの声かけ運動 秋の一日福祉体験 「車いすに乗ってみよう」 を開催しました

令和5年11月7日(火)兵庫福祉センターにて、みんなの声かけ運動秋の一日福祉体験「車いすに乗ってみよう」を開催しました。

みんなの声かけ運動出前講座講師であり、車いす常用者の濱田宗則氏を講師にお招きし、街中での車いすの困りごとについてご講演いただいた後、福祉センター横の公園に出て、車いす操作体験を行いました。

体験の後は部屋に戻り、車いすの乗車と介助の体験を踏まえて活発な意見交換が行われました。

参加者の方々の受講動機は様々でしたが、濱田講師の気さくな人柄もあり、普段は聞けないようなこと(車いすのトイレ事情や障害を持つ家族・友人との関わり方など)も話し合える、いい機会となりました。



東播ブロック事業紹介  
芋ようかん作り体験会

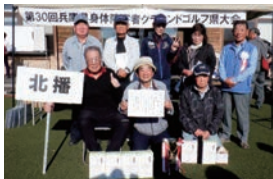
今年度より明石市、加古川市が加わり、東播ブロックでは、にぎやかに事業が開催されました。令和5年度事業として、兵身協東播地域の身体障害者の交流と生活行動訓練への取り組みを目的に、令和5年11月25日（土）、兵庫楽農生活センター（神戸市西区）において、「芋ようかん作り体験会」が行われました。体験会では女性陣主導のもと、紅芋ようかん（芋ようかん（2色））を手作りされました。固まったり固まらなかったり、手作りならではの体験で会場は大いに盛り上がりしました。今回初めて芋ようかん作りを体験された方が多く、出来た芋ようかんを各チーム見比べたり、味見をしたりと、活況を呈した楽しいイベントとなりました。お天気にも恵まれ、参加された皆様は地域を超えた交流を楽しまれました。



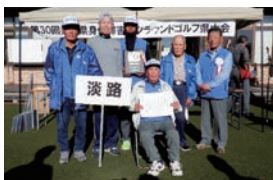
第30回兵庫県身体障害者  
グラウンドゴルフ県大会が  
開催されました。

令和5年11月8日（水）、三木総合防災公園において、第30回兵庫県身体障害者グラウンドゴルフ県大会が開催されました。

天候にも恵まれ、県内各地から12チーム総勢110名が参加され、皆様大いに楽しまれ交流を深めることができました。準備段階からご協力くださったブロックや関係者の皆様、遠方からご参加くださったチームの方々にも心より感謝申し上げます。



加西市チーム



西淡支部チーム



南淡支部チーム

- 個人の一部
- 優勝 興津 祐一 (西淡支部チーム)
  - 準優勝 丸谷 芳生 (加西市チーム)
  - 第三位 稲見 彰奏 (三木市チーム)

- 団体の部
- 優勝 加西市チーム
  - 準優勝 南あわじ市西淡支部チーム
  - 第三位 南あわじ市南淡支部チーム
- 競技結果は左記のとおりです。(敬称略)

1泊2食付 8,300円 (税込)

露天風呂もございます

※こちらの広告提示でワンドリンクサービスいたします

松葉ガニのコースメニューは3月下旬頃までのご提供です

ご予約・お問い合わせはこちらまで  
TEL(0796)-82-3645

確認欄

浜坂温泉保養荘  
兵庫県美方郡新温泉町浜坂 775

ひょうご 障害者 スマホ・パソコン相談室

TEL:078-855-8772  
FAX:078-242-4260  
メール: digital@hyoshinkyo.jp  
毎週/月・火・水・金  
10:00~16:00  
(祝祭日、年末年始を除く)

障害者 ほんっとライン

障害のある方、ご家族の方の総合相談です。

TEL:078-230-9545  
FAX:078-230-9553  
shogaisha110@hyoshinkyo.jp  
毎週/月~金 9:00~16:30  
(祝祭日、年末年始を除く)

障害者のための  
弁護士・福祉専門職による  
無料法律相談

法律に関わる問題について  
弁護士、福祉専門職と三者同時通話システムを使って、  
無料でご対応します。

TEL:078-362-0074  
FAX:078-362-0084  
毎週/火・木 13:00~16:00  
(祝祭日、年末年始を除く)